

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人アクションポート横浜	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 アクションポート横浜の役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	27 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 アクションポート横浜 ・記入責任者 氏名： 高橋 利道 連絡先： 045-662-4395
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	C	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	B

②事業実施段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	C	B
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	B	B
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	D	C
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	D	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B

③ふりかえり段階

		アクションポート横浜	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	D	C
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	C	C
3	期待された事業成果を得られることができたか。	D	D

自由記入欄

<アクションポート横浜>

平成 26 年度の「市民活動・相談窓口事業」において、昨年度に引き続き、市民から当法人への相談はなかった。昨年度終了時点での振り返りでは、対象やニーズを検証した上で、より事業目的に即した広報や窓口運営を整える必要があることを課題としたが、今年度この課題に対しての解決策を講じることができなかったことが、相談件数ゼロの結果につながっていると考える。抜本的な方針の見直しが必要かと考える。

<横浜市>

広報については努力を行いました。事業の改善に向けた対策を法人と十分に共有することができませんでした。法人からいただいた意見を参考にし、よりよい事業を目指していきます。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンドの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 27 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド ・記入責任者 氏名： 野北康子 連絡先： 045-212-5825
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		神奈川子ども未来ファンド	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	B	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	B

②事業実施段階

		神奈川子ども未来ファンド	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	B
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	B	B
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	C
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	D	C

③ふりかえり段階

		神奈川子ども未来ファンド	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	C	C
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	D	C
3	期待された事業成果を得られることができたか。	D	C

自由記入欄
<p><神奈川子ども未来ファンド></p> <p>当方の事情により、広報など積極的な活動ができませんでした。相談者からは、現場の具体的な相談ができる窓口が少ないと感じていたが、この事業のチラシをみて、NPOなら具体的な相談が出来るのではないかと思った、とのご意見を伺いました。</p> <p>活動をしているNPO等が相談窓口になるというこの事業は、とても役に立つものと思いました。</p> <p><横浜市></p> <p>事業実施にあたり、事前にお互いの役割等を共有し、連携を図りました。</p> <p>事業実施段階においても適宜、情報共有を進めることができました。</p>

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人コロンブスアカデミー	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人コロンブスアカデミーの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	27 年 4 月 17 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー ・記入責任者 氏名： 福島 恭子 連絡先： 045-761-0167
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	B
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B

③ふりかえり段階

		コロンブスアカデミー	横浜市
1	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
2	期待された事業成果を得られることができたか。	B	B

自由記入欄

<コロンブスアカデミー>

今年度は、相談件数は少なかったものの相談に来たNPO・個人の知りたいことについては、対面で具体的にアドバイスすることができました。活動を継続していくためには、このようなそれぞれの悩みを個別に聞く機会も重要だと感じています。機関誌などでも広報に努めましたが、まだまだ周知が十分ではないため、今後の課題となっています。

<横浜市>

事業終了後に、それぞれの今年度の成果や課題を共有しました。

今後事業を効果的に行っていくよう、次年度は市民活動支援センター等と連携し、NPO法人向けの講座や説明会の機会を活用し、相談対応を行うこととしました。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 さくらんぼ	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 さくらんぼの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	27 年 6 月 30 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人さくらんぼ 理事長 伊藤保子 ・氏名： 藤沼和子 ・連絡先： 045-367-7224
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		さくらんぼ	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	B	A

②事業実施段階

		さくらんぼ	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	B	A
2	相手に任せっきりせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	C	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	A

③ふりかえり段階

		さくらんぼ	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	C	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	B
3	期待された事業成果を得られることができたか。	B	A

自由記入欄

<さくらんぼ>

- ・年間を通して法人窓口でNPO法人の立ち上げ、運営方法についての相談があり対応した。事業の広報について広く市民に発信できていないこともあり、件数は4件となった。
- ・法人が市民局でNPO設立講座に参加し、事例発表と相談対応を行ったが、法人窓口対応の枠をでているので、このような対応に関しては、対応者の費用弁償（交通費）についてご配慮をお願いしたい。
- ・後半になって具体的な起業相談（保育園開設）が続けてあった。市民活動ではなく、事業として制度参入する下準備ができてからの相談対応はコンサルタントの域になるので、受付時に仕分けをしてほしい。

<横浜市>

- ・広報については努力を行いましたが、事業の改善に向けた対策を法人と十分に共有することができませんでした。引き続き、効果的な広報方法については、検討していきます。
- ・相談の受付については、市民活動支援センターと共有し、法人に相談を引き継ぐ前に、詳しい相談内容等を把握するよう改善を行いました。
- ・協働で行う事業内容については、年度当初に予算・実施内容をきちんと両方で話し合いを行い、共有する必要がありました。次年度からその部分について改善していきます。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 市民セクターよこはまの役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	27 年 5 月 26 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体名等： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま ・記入責任者 氏名： 吉原 明香 連絡先： 045-222-6501
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	B	B
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	B

②事業実施段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	B	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		市民セクターよこはま	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
3	期待された事業成果を得られることができたか。	C	C

自由記入欄

<市民セクターよこはま>

協働で事業を進めることで、法人の持つネットワークやノウハウを活かすことができ、行政が単独で行う事業よりも遥かに有効性の高いものとなっていることを確認することができた。

一方、課題として、今後の事業のあり方や相談件数の増加を狙うための方策などについて、全ての受託法人と話し合う機会を設ける必要性などが挙げられた。

<横浜市>

事業終了後に話し合いを行い、今年度の成果を共有しました。また、今後の事業のあり方や効果的な運用について話し合い、次年度以降はともに連携しながら事業について検討していく必要があります。

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 つづき区民交流協会	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	団体の役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	平成 26 年 4 月 23 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人つづき区民交流協会 ・記入責任者 氏名： 丸山 由利子 連絡先： 045-942-5516
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

			つづき区民交流協会	横浜市
事業計画段階	1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
	2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	B
事業実施段階	3	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
	4	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	C	A
	5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	C
	6	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B
	7	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	B	B
ふりかえり段階	8	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
	9	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	B
	10	期待された事業成果を得られることができたか。	C	C

自由記入欄
<p><つづき区民交流協会> 当協会は市域の中心になく、関係者以外の相談者がチラシ等を見て直接相談に来ることはあまりないのが実情ですので、説明会や研修会での相談が有効と思われます。</p> <p><横浜市> 事業実施初年度にあたり、事前にお互いの役割等を共有し連携を図りました。 次年度は、市民活動支援センター等と連携し、NPO法人向けの講座や説明会の機会を活用し、相談対応を行うこととしました。</p>

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	市民活動支援・相談窓口事業		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹	
	行政	横浜市市民局市民活動支援課	
事業の目的	市民等に身近な場所での相談窓口を設置・運営することで、市民公益活動が活発に行われる環境を整備し、市民等の相互連携を促進する		
事業の内容	相談窓口の管理運営に関すること		
役割及び責任分担等	事業項目	特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹 の役割	横浜市の役割
	相談窓口の設置に関すること	1 窓口設置場所の提供	1 窓口の設置に関する調整及び協力
	相談窓口の運営に関すること	1 相談窓口の運営 2 市民公益活動等に関する相談対応	1 相談窓口の運営に必要な情報の提供や協力 2 市民公益活動等に関する相談対応に必要な情報の提供や協力
	事業の広報に関すること	1 事業実施にかかる情報の発信に関する協力	1 事業実施にかかる情報の発信
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで		

記入日	27 年 6 月 30 日
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ樹 ・記入責任者 氏名： 事務局長 建石 比奈子 連絡先： 045-776-2802
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 市民局市民協働推進部 市民活動支援課 ・記入責任者 氏名： 佐藤 成美 連絡先： 045-227-7915

1 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行います。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	話し合いを通じて、事業の目的や方法などについて理解することができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して取り組むことができましたか。	A	A
3	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
4	事業の広報などについて、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B
5	事業を進めるうえで問題等が発生した際に話し合い、解決することができたか。	A	A

③ふりかえり段階

		ワーカーズ・コレクティブ樹	横浜市
1	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
2	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	B
3	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

自由記入欄
<p><ワーカーズ・コレクティブ樹></p> <p>今年度は相談が1件ありました。運営全般の内容でした。いろいろ話している中で、ヒントをつかまれたようでした。</p> <p>昨年に引き続き、認定・指定制度説明会でお話しさせていただく機会をいただき、ありがとうございました。</p> <p>市民局の皆様と、事業についていろいろと話し合うことができ、とても有意義な活動ができたと思います。</p> <p><横浜市></p> <p>今年度は、通常の相談対応に加え、NPO法人向けの認定・指定制度説明会において相談対応をしていただきました。説明会では実際の法人の声がきけてよかったなど、参加した市民から好評をいただきました。</p> <p>次年度も引き続き、説明会等を通じた事業の効果的な運用を、連携しながら図っていきます。</p>